

早稲田大学の学部生のみなさんへ

大学院経済学研究科では、

高度化した経済学の各専門分野、ならびに他の隣接学問領域を包含して発展する国際政治経済学の諸分野で貢献できる研究者の育成と並んで、グローバル化・情報化の発展した時代において国内外の政治経済問題に対応できる具体的政策提言・実施・評価能力を備えた人材の育成を行うことを目的としています。

○研究者を志す人には、

経済学の研究者として必要不可欠な理論を修士課程の早い段階で身につけ、博士後期課程進学後も明確なテーマをもって着実に研究成果を上げていけるよう、確固たる基盤づくりを行ないます。

○5年一貫博士プログラムについて

5年一貫博士プログラムでは「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「ゲーム理論」「経済数学」「計量経済学」「政治経済学」に関する標準的な幅広い知識と、入学から5年以内の博士号取得を可能とするための各種サポートを提供します。経済学の理論と応用に渡る幅広い素養を持った、社会のニーズに応え得る柔軟性の高い研究者の育成を目指します。

○高度職業人を志す人には、

経済学をより深く学ぶなかで身につけた論理的思考力とともに、研究科で修得したデータ分析のスキルを駆使して経済事象を分析し、現代の諸問題に対して、時代のニーズに即した解決策を導き出すことのできる人材を育むことを目指します。

○実証分析プログラムについて

統計学・計量経済学の技術を実社会の要請に応え得る高度なレベルで修得し、企業や行政機関等の様々な組織における意思決定の場面で活用できる高度職業人を養成することを目的とした「実証分析プログラム」を2015年度4月から開始します。このプログラムは、修士課程修士課程修了後に民間企業等に就職することを目指す学生向けの履修プログラムです。

2016年4月入学修士課程推薦入学試験1次募集

出願期間：2015年4月17日（金）～4月23日（木）

出願資格、出願書類等の詳細については、当研究科の推薦入学試験要項をご確認ください。

「大学院経済学研究科ホームページ 推薦入学試験」

<http://www.waseda.jp/fpse/gse/applicants/admission-literature/>

<大学院経済学研究科の特徴>

基礎理論から応用・専門へと展開されたカリキュラム

大学院経済学研究科では、コースワークの充実に力を入れています。ミクロ経済学、マクロ経済学、および経済データ分析に関する科目の履修を必修とし、経済理論に裏付けられた厳密な思考能力および実社会でも即戦力となるようなデータ分析能力を身につけるためのカリキュラムを提供しています。

政治経済学部をはじめ早稲田大学からの内部進学

政治経済学部から内部進学してくる学生の場合、早期修了制度を活用すれば、学部3年卒業制度の適用を受けられれば最短で、大学入学から大学院の博士後期課程修了までわずか6年で修了することも可能です。早稲田大学政治経済学部出身者以外の方でも、優れた研究業績を上げることで、修士課程・博士後期課程あわせて最短3年間で博士学位を取得することが可能です。

「修士課程推薦入学試験説明会」

2015年4月7日（火）12:15～13:00 3号館7階703教室

お問い合わせ 大学院経済学研究科事務所（[Tel:03-3208-8560](tel:03-3208-8560) E-mail:gse-ml@list.waseda.jp）